



Title	近隣住民と大阪大学の友好関係について
Author(s)	井川, 登
Citation	大阪大学史紀要. 1987, 4, p. 70-71
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/10378
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

近隣住民と大阪大学の友好関係について

井川 登

列島改造、万博以後は、公害問題の明け暮れの時期でもありませんでした。その中であって、昭和四十八年二月大阪大学薬学部に移転に伴う焼却炉の問題が近隣住民との間で、大気汚染による焼却炉建設反対運動が住民運動として発展しました。住民側は一五〇メートルしか離れていないのに、大学側は一五〇メートルも離れているのに、別名もしか、戦争と云われる所以でもあります。

しかし、大阪大学と近隣住民との間で榎原吹田市長裁定による新しい方式をあみだし終結しました。ここに四十九年三日一日調停にあたり住民よりの挨拶文を掲載し、三大原則に基づく近隣住民と大学との友好関係を再度確認するものであります。

調停にあたって

此の度、榎原市長さんの調停により本日茲に大阪大学と円満に調停の成立を見ました事は、藤白台二丁目自治会住民一同喜びに耐えないところであります。私達は、未来社会をにやう可愛い子供達の健康的な環境を保全するために、決然と阪大薬学部焼却炉建設反対運動を展開し闘って参りました。

顧りみますれば、去年二月二十八日大阪大学と第一回現地説明会を開いてより丁度満一年を経過し、闘争の明け暮れで本日を迎へ感慨無量のものでございます。

その間、市役所、市議会に陳情と請願をなし、特別交通公害対策委員会を開催して頂き、私達住民代表も特別傍聴の機会を得、住民の環境保全のため、阪大薬学部の焼却炉の工事中止を勧告せられるなど、市当局は多大の努力を払われ、ついで住民の要請に基づき九月七日住民サイドの調停原案の成立を見ました事は、我々記憶の新しいところであり忘れ得ぬ感激でもございました。

一方、大阪大学に於いても諸問題解決のため施設部を通じ現地説明会を重ね、いち早く自発的に工事を全面的に中止せられるなど、終始誠意を以って交渉に当たられました。局長以下皆々様の本日迄の御心労の深かった事と御推察申し上げます。

尚、ワーキンググループの諸先生方の御英断により調停妥結の糸口を見いだされた事は、その存在の意義の大きかった事を認めるところであります。今後、大阪大学は人間科学部の創設の理念に従って行動せられん事を祈って止みません。

本日、茲に市長さんの御尽力により、藤白台二丁目自治会と大阪大学との不朽の憲章とも云うべき三大原則（①大阪大学は近隣住民の生活環境を侵さない。②近隣住民は大阪大学の機能を不当に低下させない。③その中で共存共栄の実をあげお互い仲良くしていく。）にのっとり今後、末永く大阪大学と調和のとれた共存共栄の関係を保ち、円満に記念すべきこの日昭和四十九年三月一日調停を妥結成立、和解するものであります。

この事は、近事増大する住民運動に対する市長裁定による新しい試みであり、社会問題としての住民運動の在り方について一つの問題を提起したものであると思います。

市長さんの市政に対する熱意の賜と高くその意義を評価すると共に深甚なる謝意を表わすものであります。

最後に、市長始め市議会議長、市会議員の諸先生、具体的な交渉に当たられた企画部の皆様、大阪大学の関係各位並びに報道関係各位に対し、藤白台二丁目住民一同を代表し、厚く厚く御礼申し上げますと共に運動交渉の熱意のあまりかずかずの非礼のあった事を、心よりお詫び申し上げます。

今後益々吹田市と大阪大学のより一層の御繁栄を衷中よりお祈り申し上げ調停の意義を讀え御礼の御挨拶と致します。

昭和四十九年三月一日

藤白台二丁目自治会

会長 井川 登
副会長 谷井 長太郎
副会長 中村 義輝

以上調停三大原則の中で昭和五十二年三月一日調停三周年記念に当り、阪大前水遠池東南端公園通路に友好の灯水銀防犯灯一基を、私達藤白台二丁目自治会で十二万円かけ寄贈しました。深夜遅くまで研究しておられる学生さんの通学の安全を祈り設置したものであります。

私も皆々様の御支援により吹田市市議員に選出されました。そこで市の公園緑地課と話し合い、五十万円もする現在の水銀灯防犯灯が日夜こうこうと学生さん達の安全を祈り灯っているのを見るにつけ、大阪大学と近隣住民との永遠の友好を示す友好の灯と思いを新たに次第であります。



水遠池東南端公園の防犯灯と筆者
後方は大阪大学工学部

その間主なものとして①山中千代衛教授のレーザー核融合研究センター施設②山之内孝尚教授の微研焼却炉の改善と感染動物実験施設③市川邦介教授の排容媒処理施設④本部の福利棟施設⑤国富信彦教授のラジオアイソトープ管理施設⑥小谷尚三教授の歯学部ならびに下総高次教授の歯学部病院施設⑦甲田和衛教授の人間科学部施設⑧岡田善雄教授の細胞工学センター施設⑨医学部移転⑩水槽の問題⑪阪急バス進入等についても友好裡に双方協議処理して参りました。

今後永く近隣住人と大阪大学との友好も信じ、今は亡き釜洞総長、床井事務局長と施設部新居課長補佐を偲び、ご冥福をお祈りするものであります。

(いかわ のぼる 吹田市議会議員)

藤白台二丁目環境対策委員長)